

# NEXT きらめき

☆第46回全国高等学校総合文化祭 演劇部門  
文部科学大臣賞 (最優秀賞)



松山東高等学校 演劇部

3年 菊池 ひより さん  
(新谷中学校出身)

菊池さんが所属する松山東高等学校演劇部は7月31日(日)から8月2日(火)の間に東京都で開催された第46回全国高等学校総合文化祭の演劇部門で最優秀賞となる文部科学大臣賞を受賞しました。

漫画「ガラスの仮面」を読んで演劇に興味を持ち入部したという菊池さん。先輩や同級生のメンバーが素晴らしい人ばかりで、みんなで作品を作り上げていくのがとても楽しく、どんどん演劇の世界にのめり込んでいったそうです。受賞作品「きょうは塾に行くふりをして」では真面目で自他に厳しい高校生、チハルを熱演。「チハルは自分には無いものを持っている人物。彼女の背景を自分なりに解釈しながらその感情を表現していく。台詞としてではなく自分が友人と喋るように自然に言葉が出てくる瞬間がとても嬉しい」と語っていました。

※松山東高等学校の公演は11月5日(土)の14時からNHK Eテレ「青春舞台2022」で放送予定です。写真下：演劇部のみなさん



## HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

## Vol.68 帝京第五高等学校

みなさんこんにちは。帝京第五高校野球部主将の住吉栄祐<sup>えいすけ</sup>です。第104回全国高等学校野球選手権大会への出場に際し、みなさんより心温まるご支援と激励の言葉をいただき、誠にありがとうございました。

また、大洲高校、大洲農業高校、長浜高校のブラスバンド部のみなさんも、夏休みにもかかわらず、本校の応援に参加してくださって、本当にありがとうございました。感謝の言葉しかありません。夢を追いかけて夢中に野球ができた環境に感謝、応援してくれたみなさんに感謝です。

また、9月に本校では、3年ぶりに体育祭を開催しました。始業式からほんの2～3週間という短い期間の中、3年生を中心に、チーム一丸となって頑張ることができました。

甲子園での経験や、仲間たちと頑張った活動を通じ、さらなる夢に向けて頑張っていきます。たくさんの応援をありがとうございました。



一回は大洲高等学校からです。一

## 愛媛FCレディースが大洲をPR

愛媛FCレディースの今蔵綾乃選手と大宮央選手の2人が8月17日(水)、大洲市役所を訪れました。愛媛FCレディースは愛媛県全域をホームタウンとしていて、活動の一環で「愛媛FC1市町1選手応援事業」としてイベントの告知動画に出演するなどしています。今回は大洲市をPRする取組として、大洲市出身の2人が大洲城や臥龍山荘などを紹介する動画を撮影し、9月10日(土)にニンジニアスタジアムで行われたゲームのハーフタイム中に放送されました。



## ありがとうキース、キャロリン

契約期間が終了したALT (Assistant Language Teacher)のTsurukawa Keith Asei(ツルカワ・キース・アセイ)さん(右)とMoffenbier Carolyn Frances(モッフエンバイヤー・キャロリン・フランシス)さん(左)の2人が大洲市を去る前の8月18日(木)に市役所を訪れてくれました。キースさんは県内の別の学校に赴任、キャロリンさんはアメリカに帰国されました。2人は「大洲での日々は素晴らしかった。大洲に来て日本がますます好きになった」と語っていました。



## 5年ぶりのカヌーツーリング駅伝大会

第31回大洲市カヌーツーリング駅伝大会が8月21日(日)に開催されました。この大会は肱川に親しみながら川に対する意識を高めるとともにカヌーの普及と生涯スポーツの振興を目的に開催していますが、豪雨災害と新型コロナウイルスの影響で中止が続いており、5年ぶりの開催となりました。今回は約6キロの周回コースをリレーで競い、大洲市内外から参加した19チーム、126人は肱川の景色を楽しみながらパドルを漕いでいました。



## 企業版ふるさと納税制度による寄附

大森商機株式会社(本社:松山市)から、8月23日(火)に企業版ふるさと納税制度を利用して、『ブランド・魅力を活かした「しごと・ひとの流れ」づくり』のために寄附をいただきました。

当寄附は、大森商機株式会社が大洲営業所で操業を開始して50年の節目に、地域貢献活動の一環として実施されたものです。大森雄代表取締役社長は「産業振興に活用してもらい、若者や子供の人口増加を図って欲しい」と語りました。



きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



## マンダリンパイレーツ公式戦

愛媛マンダリンパイレーツの公式戦が8月13日(土)、8月27日(土)に八幡浜・大洲地区運動公園野球場で行われました。27日は「大洲市応援デー」と称し、大洲なわとびクラブの子供たちがオープニングイベントで盛り上げた後、試合開始。熱戦の球場の外では大洲市特産品の抽選会やキッチンカーの販売などが行われ、試合の合間には親子連れで賑わっていました。なお、試合結果は13日は12-2で徳島に勝利し、27日は4-4で香川と引き分けています。

(写真: 始球式のあとにハイタッチで選手に迎えられる城戸教育部長)



## プロの技術を学ぼう

元サッカー日本代表でサンフレッチェ広島などで活躍した佐藤寿人さんたちによるサッカークリニックが8月27日(土)に緑地公園で開催されました。参加した70人の小中学生は、基本的な動きやボール捌きの技術を学びました。このクリニックは子供たちにトップアスリートから学ぶ機会をつくりたいと企画されたもので、佐藤さんは「サッカーを通して何を感じるか、何を学べるかが競技を続けるうえで大事」と子供たちに語り掛けていました。



## 平小学校屋内運動場が完成

8月26日(金)、7月末に竣工した平小学校屋内運動場の落成式を開催しました。完成した施設は、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建て、延床面積は1,367.64㎡、2階に児童クラブ用の一室を新たに設け、3階アリーナと北校舎2階を渡り廊下で結んで、スムーズな移動ができます。

また、東・西面の自然換気用通気口の前面に平小学校校章をイメージした扇形の防風板を設置しているほか、トイレにベビーチェア、車椅子対応のエレベーターや外部から資材等を搬出入する防災用倉庫を整備したなどが特徴です。



## 親子でカヌーを体験

大洲カヌークラブ主催「夏休み親子カヌー教室」が8月27日(土)に緑地公園付近の肱川を会場に開催されました。「カヌーをもっと身近に感じてもらい、日常的なスポーツとして楽しんで欲しい」と企画されたもので、午前・午後の部あわせて約70人の親子が参加しました。最初は上手く進めない子供たちも地域おこし協力隊の杉井隊員たちの指導ですぐに上達。水の上を自由に進めるようになり、楽しい夏休みの思い出の一日となったようです。



## きずな博船上イベント&いもたき初煮会

現在開催中の「えひめ南予きずな博」の大洲市シンボルイベントとして「肱川船上ライブ」が8月28日(日)に肱南河川敷を中心に開催されました。この日は大洲城を望む特設野外ステージで臥龍太鼓による勇壮な演奏で始まりを告げると、続いて男女4人のボーカルグループ「サーカス」が素晴らしい歌声を披露。ライブは屋形船や対岸から楽しむことができ、

観客のみなさんはスマートフォンのライトを照らしながら4人を応援していました。また、大洲小学校の4年生から6年生による復興を願う灯籠流しも行われ、児童作製の灯籠132個が水上に浮かぶ幻想的な景色が広がっていました。同会場ではいもたき初煮会も実施され、みなさんそれぞれの形で楽しく美しい夏の夜を過ごしていました。



## 【サツマイモのポタージュ】



## 材料（2人分）

サツマイモ	150g
バター	10g
タマネギ	1/2個
豆乳または牛乳	200ml
コンソメ（顆粒）	小さじ1
水	300ml
塩コショウ	少々
カイワレ大根	適量

## 作り方

- ① サツマイモは皮をむき、1cm程度の厚さに切り、水にさらす。タマネギは薄切りにする。
- ② 鍋にバターを入れてタマネギを炒める。しんなりしたら、水気を切ったサツマイモを入れ、サツマイモが黄色になるまで炒める。
- ③ ②に水とコンソメを入れ、サツマイモを煮る。火からおろして荒熱をとり、ミキサーにかけてペースト状にする。
- ④ ③を鍋にもどし、豆乳を加えて滑らかにのぼす。
- ⑤ 塩コショウで味を調え、器に盛り、カイワレ大根を飾る。

## サツマイモの栄養

食物繊維が豊富なので整腸作用に加え、余分なコレステロールやナトリウムを排出する作用もあり、便秘改善や生活習慣病予防にも役立ちます。また、ビタミンCやビタミンEも含まれるため、抗酸化作用や血行をよくする働きもあります。



【レシピ提供：健康増進課】

私たちにもできる

SDGs



前回14番目の目標は「海の豊かさを守ろう」でしたが、もちろん海だけではなく陸も大切にしなければなりません。世界の陸地の3分の1は森林であり、その森林や山などの自然から、きれいな空気や水が提供されています。

しかし、私たちの暮らしが便利になるにつれ伐採や酸性雨による森林破壊や砂漠化が進み、現在も毎年多くの森林が消失しています。また、森林破壊はそこに住む生物にとっても脅威であり、国際保護連盟が絶滅危惧種(レッドリスト)として指定している野生生物の数は約4万種に及びます。生物の多様性が失われると生態系が崩れ、農林水産業など人間の生活にも深刻な影響が及ぶことが予想されます。このような森林破壊や生物の絶滅などを阻止するためには我々が身近なところからできることとして、環境に配慮した製品を選ぶようにすることはもちろん、学校や地域などで行われている植林活動や森づくり、環境に対する学習会などに参加して、自然と人間の関係を見つめ直す機会を持ってみてはどうでしょうか。

## 文化財

藤縄のオハツキイチョウ  
大洲市指定天然記念物  
個人所有



この木は、藤縄地区の中峰集落にあり、矢落川中流域の谷部、標高約250mの地点に位置します。

樹高は約20m、枝張りは東西約13m、南北約12mで、樹齢約80年と推定されます。樹高に対して枝張りが広がっておらず、イチョウとしては細身の印象を受けます。

イチョウには多くの変種があり、オハツキイチョウもそのひとつです。種子（銀杏）が奇形のように葉に付くこと（お葉付き）が特徴で、樹齢が高く枝が古いほどこの特徴が出やすいとされます。

この木は、わずかですがお葉付きの特徴を表すことがあり、市内では珍しいものといえます。

（平成16年3月23日指定）